

## 7つの「お金の教養」

お金の教養は、大きく「考え方」「貯め方」「使い方」「稼ぎ方」「増やし方」「維持管理」「社会還元」の7つに分かれます。この7つのお金の教養をバランスよく身に付けることが、お金の教養を高めていく近道といえます。

### 7つの「お金の教養」

お金の教養は、大きく7つに分かれます。

#### ①考え方

お金の教育を受けていなかった私たちが、本来学ぶべきだった「お金の考え方」や「お金の知性」。いくら知識があつたり、収入が高かつたりしても、正しいお金の考え方が身につけていないと、一生を通じて安定して豊かな生活を送ることはできません。

「思考がその人自身をつくる」という言葉がありますが、これはお金の教養においても同じことが言えます。まずは正しいお金の考え方を学ぶことで、貯め方や使い方といった他の6つの教養が生きてきます。

#### ②貯め方

お金を正しく扱えるための「お金の貯め方」「預貯金のルール」です。

お金を増やす基本は預貯金です。特にお金の教養STAGE1、STAGE2の人にとっては、「いかに正しいやり方で預貯金ができるか」が「どれだけお金を貯められるか」に直結します。

#### ③使い方

私たちは毎日必ずと言ってよいほど、お金を使います。そのお金の使い方を間違えると、せっかく貯めたお金が無駄に流れていってしまいます。

また、同じ金額を使うのであっても、正しい使い方ができるのとできないのでは、使ったあとの満足度も違いますし、その積み重ねである人生そのものの満足度にも結果として大きな差がでます。

どのようなルールに従って、正しく価値のあるものにお金を使うか、これも教養の一つなのです。

#### ④稼ぎ方

四つ目は仕事やキャリアアップなどを通じた「お金の稼ぎ方」です。

仕事によってお金を稼ぐということは、高い給料をもらえる会社に就職すればよい、

儲かるビジネスを探して始めればよい、という単純なものではありません。収入を長期的、安定的に高めるためには、ビジネスパーソンとしてのスキルや経験、経済知識などをバランスよく高めていく必要があります。また、市場の中で自分自身の「価値」をどう生み出すかという視点も大切になってきます。

### ⑤増やし方

お金に働いてもらい、「お金にお金を稼いでもらう」方法、つまり資産運用での「お金の増やし方」です。

個別の金融商品の仕組みだけでなく、どうすれば豊かな人生を実現していくうえで資産運用を強い味方につけられるのか、その本質を学ぶことが大切です。

### ⑥維持管理

六つ目は「お金の維持管理」の方法です。

「維持管理」と聞くと、他の6つの教養に比べて簡単そうに思えるかもしれませんが、実は、とても奥が深く、難しい教養のひとつです。

起業家や高収入の人によくあるのですが、お金を稼ぐ能力は抜群に優れていても、このお金の維持管理がうまくできていないと、お金がすぐに流れ出ていってしまいます。

維持管理の教養はまとまったお金を持ってからつけるのでは間に合いません。なるべく早くからつけておく必要があるのです。

### ⑦社会還元

入ってきたお金を寄付やチャリティなどで他人に与えるということは、心理的な豊かさを感じるお金の使い方のひとつです。一人で抱えていても、よい働きをしないのがお金というものだからです。

また、社会に対して還元できるのはお金だけではありません。私たち一人ひとりがある能力、スキル、経験を社会で活かすことも社会還元のひとつ。真に豊かさを感じられる人生を送るためには「社会還元」という視点が欠かせないのです。

